

CRF250R | パワーユニット(1)

●CRF250R エンジン吸・排気系

ドライバビリティの大幅な向上を図るため、吸気系から排気系まで徹底検討し、最適な仕様に変更しました。

インレット側は、ポートの吸気通路形状の変更とともにスロットルボディのボア径をφ50mmからφ46mmに変更し、低・中速域での優れたレスポンスとスロットルコントロール性を実現しています。また、吸気ポートとコネクティングチューブとのつながりを含めた通気抵抗の低減を図りました。

エキゾースト側についても、ポートの排気通路形状の変更とエキゾーストバルブの傘形状を変更することで、通気抵抗の低減を図りました。

これらの変更により、吸・排気を合わせた体積効率(燃焼室に取り込める空気量)を約2%向上させ、全域にわたる出力向上と共に、さらにスムーズなパワーデリバリーを実現しました。

吸・排気系の変更に合わせて、PGM-FIのセッティングも見直しました。また、出力の向上に伴い、ピストンやバルブなどの往復動弁系部品は、表面処理など詳細の仕様を見直すことで、高負荷時のさらなる耐久性強化を図りました。

■吸・排気ポート形状比較図

